

平成30年度（公財）加納美術振興財団事業報告

1. 平成30年度より5年間の指定管理者の指名を受け、安来市加納美術館の管理運営を行った。
2. 当館の収蔵する油彩画、墨彩画、書、陶磁器、日本画、彫像、木工彫刻、水彩画の美術作品および他施設からの借入による作品の展示及びそれらに関する学術講演会を実施した。
3. 展示および講演会などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、SNS、安来市内行政告知放送、安来市報、電柱広告などにより行った。
4. 4月、加納莞菴「作戦記録画」の原寸大複製画が完成し、マスコミに向け記者発表を行った。
5. 7月、「加納莞菴とエルピディオ・キリノ平和友好記念碑」建立寄附金の残余金を基に寄附者名板を設置し、寄附者宛に報告に合わせ会計報告も行った（はがき発送）。
6. ユネスコ「世界の記憶（地域登録）」の再申請に向け、市教委を含め内容の検討作業を進めた。また、安来市文化財登録に向けても作業を進めている。（いずれも継続中）
7. 2月、フィリピン・キリノ家へ、安部朱美さんが制作された人形「平和への祈りーアリスアと3人の愛児たち」を贈るため、2/26～3/2まで加納理事長、名誉館長、安部朱美さんご夫妻、BSS山陰放送・荒川ディレクターが訪比。
訪比前（2/14）、米子市長、安来市長へ表敬訪問、安来市では記者発表を行った。キリノ家より、モンテンルパ市へ寄贈され、新設モンテンルパ博物館で莞菴資料とともに常設展示されている。
8. 30年度実施した主な企画展及びイベント （別紙1）
9. 美術館の主要な取り組み→癒しとくつろぎのある美術館を目指して。
 - ① 入館者数は、9,661人、出前講演は、3,360人、合計13,021人で、入館料収入は、5,844千円 （別紙2、4） だった。
 - ② 「名碗を愉しむ会」は年8回開催し、のべ132名の参加があった。リピーターも多く、中には7回参加の方があり、毎回愉しんでもらっている。日本伝統文化の茶の湯に対する理解向上推進、及び美術館の目指す理念等も理解が深められている。
 - ③ 来館者への丁寧な説明、抹茶・コーヒー等のおもてなしが好評を得ている。
 - ④ イベント、展示替え等の手伝いで、のべ61名（350時間超）の地域ボランティアの方々や市教委職員の協力を得た。 （別紙3）
10. 理事会は5回実施した。（内1回は書面による）
11. 啓発・文化教育振興事業の推進
 - ① ・多種団体、学校、公民館などとの連携による美術、郷土の文化学習の啓発出前授業講演を実施した。出前授業講演は、名誉館長が26回で1,815人、館長が15回で1,305人（+12回240人石正美術館講座）の参加者があった。 （別紙4）
・市内中学校5校（3年生4校、2年生1校）の平和学習では、市教委手配による大型バスで6回にわたり344人の生徒・教師の来館があった。

- ・小学校の平和学習として、10月赤江小学校6年生が来館し、のちに学習発表会で「加納莞菴」をテーマに演劇発表があった。また、地元布部小学校、こども園布部の来館もあった。
- ・安来高校新聞が3月の莞菴に関する取材をもとに、4月安高新聞に掲載された。

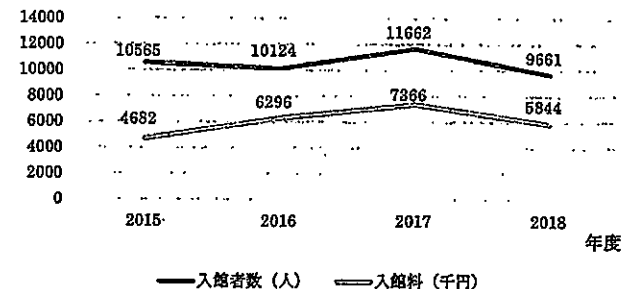
（別紙5）

- ・各展示において、作家・作品を通し安来との関わりなどをギャラリートーク・講演会等で詳しく説明し理解を深めた。
 - ② “安来市平和のつどい”には、積極的に協力し、開催日前後ひと月間は、平和をテーマとした展示を行っている。
30年度は、大石芳野さん、高嶋敏展さんの写真展を開催した。
 - ③ 全国美術館会議（ワーキンググループとして小規模館部会）、しまねミュージアム協議会、安来市観光協会、文化事業団体などとの連携による地域文化の振興を推進した。
 - ④ さぎの湯温泉、夢ランド、富田山荘、玉峰山荘などと連携し、紹介で59名の来館者（お客様から窓口で申告）があった。
- 1.2. 作品、建屋、設備機器の修復
 - ① A展示室エアコンが故障し、夏場は市教委手配でレンタルのエアコンが設置され、シーズン終了後撤去された。（工事費：財団負担、レンタル料：市負担）
冬場になり、設置を交渉したが手配されず、古いエアコンを再利用し設置した。
（工事費は市の負担）
 - ② 以前から設置を希望していた「AED」が、布部地区として当館玄関前に設置された。
 - ③ D展示室ケース内照明のLEDへの取替工事を行った。
 - ④ 作品クリーニングは8点で、費用は34万円だった。

1.3. 職員

理事長 加納二郎（学芸員）、常務理事 加納佳世子（学芸員、名誉館長）
常務理事 神 英雄（学芸員、館長）、
理事 千葉 潮（学芸員、理事長特命事項対応）
職員 小藤喜美江、北川晶子、横山あかね、安部美幸

入館者数・入館料の推移



(別紙1) 平成30年度事業報告

(展覧会実績)

常設展示：加納莞菴展

期 間 (開館日数)	タイトル名	入館者数(人)/ 入館料(千円)	開催テーマ	期 間 中 の イ ベ ン ト
4/7~6/11 (57日)	特別展 名品と出会う 企業コレクションによる 日本近代洋画展	2,276人 1,606千円 (費用) 2,127千円	独自の表現を切り拓いた近代洋画家の作品を数多く所有する公益財団法人糖業協会のコレクションを山陰で初めて紹介。美術の教科書に載る洋画家たちの絵が勢ぞろい。美術館創設者加納溥基が蒐集した茶陶逸品展も同時展示。	<ul style="list-style-type: none"> ・4/1~3 布部地区ひなまつり(別館で椿窯の陶器の展示) ・4/7、28、6/10 ギャラリートーク ・4/22、5/27 みるみるの会(対話型鑑賞会) ・5/3 ヨシタケコーヒーふるまいの日 ・5/4 みるつくるあそぶ ・6/3 講演会 (講師：千葉潮氏、メディアアイランド代表、当財団理事、演題：日本近代洋画と加納莞菴)(22名) ・名碗を愉しむ会 4/8(18名)、5/13(15名)
6/16 ~ 7/16 (27日)	加納溥基コレクション 小野竹喬と池田遙邨 旅を描く	674人 332千円 (費用) 187千円	美術館創設者加納溥基が蒐集したコレクションの中から、小野竹喬と池田遙邨の作品を公開。約80点におよぶ作品を通して人生を旅した二人の絵を描くよるこびを感じていただく展示。 備前焼と名碗も同時展示。	<ul style="list-style-type: none"> ・6/16、7/8 ギャラリートーク ・7/4~6 安来第一中 平和学習(188名) ・名碗を愉しむ会 6/17(20名)
7/21~9/17 (52日)	没後4年 畫家 佐々木恵未 しあわせ色の風	3136人 1,950千円 (費用) 2,304千円	170回以上にわたって新聞に掲載された「あったか家族」で感動を呼び大評判となった、佐々木恵未さんの絵とそれに添えられた人々の「言葉」や、いくつかの絵本原画を紹介し、恵未さんの生涯を辿る。	<ul style="list-style-type: none"> ・7/21 オープニングセレモニー ・7/21 講演会(講師：有賀忍氏、江戸川大学客員教授、演題：佐々木恵未作品の魅力を探る)(51名) ・8/4、11、9/2 ギャラリートーク ・8/5、12、19 ワークショップ ・8/15 平和の祈りコンサート&読み語り(61人) ・8/16、17 読み聞かせ ・8/18 紙芝居とトーク(出演：よしと氏)(41名) ・名碗を愉しむ会 7/22(12名)、9/9(8名)
9/22~10/22 (27日)	大石芳野 HIROSHIMA 平和への思い 高嶋敏展 SHIMANE 戦争の手ざわり (安来市平和のつどい協賛)	906人 456千円 (費用) 875千円	世界各地で戦争や内乱で傷つけられ苦悩しながら生きている人々を追い続けている大石芳野氏のHIROSHIMAをテーマにした写真作品と、私たちの身近にある戦争の痕跡を記録し続けている高嶋敏展氏のSHIMANEを舞台にした作品展。また、地元の故濱田キミエ氏の戦争への思いに繋がる作品も展示。	<ul style="list-style-type: none"> ・9/28 広瀬中学校平和学習(51名) ・9/29 安来市平和のつどい(高嶋作品をウォールアートで紹介)(夜8時まで開館) ・9/29 ギャラリートーク(大石芳野氏、高嶋敏展氏) ・9/30 講演会(講師：当代 飯塚藤兵衛氏、演題：甥が語る水木しげる)→(台風接近のため中止) ・10/5 赤江小学校平和学習(42名) ・10/7 ギャラリートーク ・10/21 みるみるの会(対話型鑑賞会) ・名碗を愉しむ会 10/14(5名)
10/27~12/24 (51日)	加納溥基コレクション 備前焼 一古備前から 現代作家まで一	1,207人 716千円 (費用) 580千円	創設者加納溥基が蒐集したコレクションから、選りすぐった古備前から現代作家までの備前焼を展示。	<ul style="list-style-type: none"> ・10/27 備前焼体験教室(金重晃介氏、金重潤平氏を迎えて)(24名) ・10/28 ギャラリートーク() ・11/4 講演会(講師：外館和子氏 多摩美術大学教授、演題：備前焼の歴史と近現代の作家たち)(15名) ・11/10、12/9 ギャラリートーク ・名碗を愉しむ会 11/18(35名)
1/11~4/8 (77日)	細田育宏+細田和子 愛しき島根 小企画展 内田規子作品展	1,478人 788千円 (費用) 847千円	布部出身・細田育宏、出雲市出身・細田和子夫妻の「仕事」を紹介する。二人の作品に通ずるふるさと島根への思いが伝わる展覧会。 小企画展では、米子市在住の創作粘土作家・内田規子氏の作品展	<ul style="list-style-type: none"> ・1/13、2/3、3/21 ギャラリートーク ・2/9、3/31 対話型鑑賞会 ・2/24 楽しく美しい方言の世界(出雲弁・出雲弁子さんと劇団幻影舞台・清原真さん、南部弁・神館長のコラボ)(80名) ・3/3 ワークショップ(内田規子氏の指導「粘土で春をつくろう」)(12人) ・3/10 講演会(講師：細田和子氏 演題：細田育宏 愛しき島根)(60人) ・名碗を愉しむ会 3/17(8名)

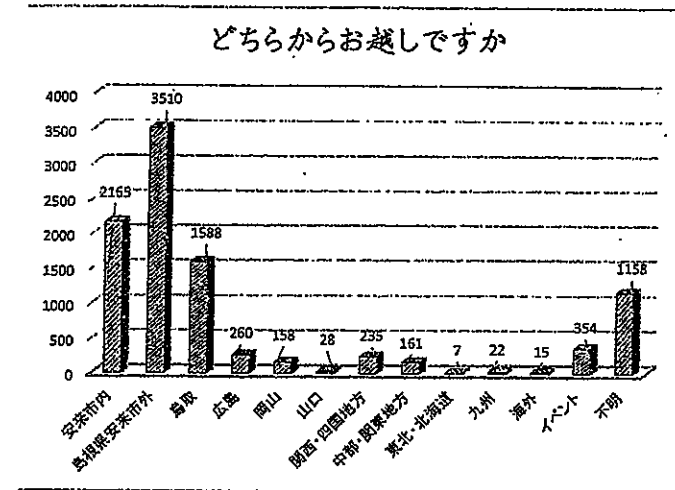
(別紙2)

入館者数及び入館料収入実績書 平成30年度

月	入館料収入 (円)	入館者数 (人)	入 館 内 訳											イベント内容
			一般	学生	団体	身障者	他割引	他割引 (GG)	DM割	招待券	イベント	バス ポート	小人	
4月	592,100	847	240	1	92	54	288	0	12	96	0	54	10	
5月	763,000	1,074	428	6	23	75	297	12	22	123	0	38	50	
6月	534,500	789	190	2	195	58	178	0	9	84	22	37	14	6/3講演会
7月	311,200	749	138	0	50	20	132	0	2	111	51	45	200	7/21講演会
8月	769,350	1,307	402	12	0	56	398	0	7	140	102	40	150	8/15平和の日 8/18紙芝居&トーク
9月	1,120,100	1,843	610	7	61	112	545	0	18	194	0	62	234	
10月	453,200	715	213	0	181	32	93	0	3	74	24	48	47	10/27備前焼体験教室
11月	436,500	743	219	21	77	42	145	0	11	63	15	37	113	11/4講演会
12月	183,100	296	115	22	20	15	70	0	2	30	0	17	5	
1月	89,900	197	69	1	0	1	16	0	0	97	0	11	2	
2月	281,100	565	150	2	0	18	123	0	0	91	80	62	39	2/24出雲弁
3月	310,000	536	118	1	55	15	144	0	3	74	60	45	21	3/10講演会
計	5,844,050	9,661	2,892	75	754	498	2,429	12	89	1,177	354	496	885	

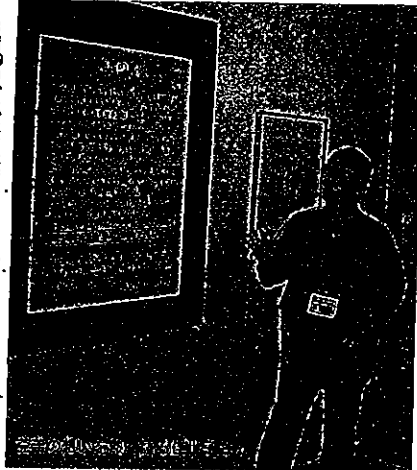
受付窓口 聞き取り調査 (平成30年度)

(単位:人)



各地域から、たくさんの方にご来館いただきました。
ありがとうございました。

安来から世界に広めた平和への願い



兵士の死を目的とした若き古瀬氏の言葉は共鳴できるものがあり、また古瀬氏の人格、人となりの大きさも感じている。

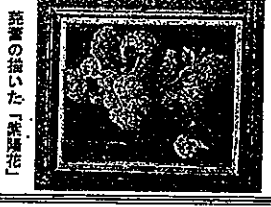
9月29日、私たちは安来市広瀬町にある加納美術館を訪れた。そこで私たちは、加納善書(本名・辰夫、一九〇四〜一九七五)が行った平和活動について、善書の娘である七世子さんに話を伺った。

人生を変えた 古瀬氏との出会い

善書は能義郡布都村出身の画家であり、戦前は小学校教諭として勤め、戦時中は従軍画家として戦場に渡り戦争の状況を描くなど数多くの経歴をもつ。そのような善書が平和活動を始めるときは、フィリピンでの戦争から帰還し

た古瀬善季元海軍少将との出会いだ。特攻隊の司令官であった古瀬氏は「未来ある青年たちを死に追いやった」とは今私の負うべき罪であり、万死に償うべきことだ。今、このことが日本国民に十分反省され、改められなければ再び日本をただしめることはできん」と、思いの丈を善書に話した。戦場で多くの若い

大統領は、妻子を含む親族9人を日本兵に殺害されていたのだ。この事実を知った善書は、第4巻筋において「閣下の手から残虐にも奪い取られた愛児の名において一赦し難きを赦す—この苦跡が現れることを待ち望むところでありませう」と嘆願し、ついにキリノ大統領は日本人戦犯の釈放を決断した。キリノ大統領は、憎悪を次の世代に引き継ぐまいと、「憎しみの連鎖」断つたのだ。これはキリノ大統領が、未来の平和を実現するために下した大きな決断であった。そして一九五三年、古瀬氏を赦免させた全ての戦犯が赦免された。最終的にキリノ大統領に送った手紙は43通に及ぶ。2人が亡くなった今でも、この2人の平和に対する願いは語り継がれている。(画)



加納美術館にある、沢山の青い紫陽花(あじさい)の端に一輪のピンクの紫陽花がある絵。この絵はもともと雲南市の流中学校に飾られていたもので、善書の絵があると聞いた七世子さんは中学校に確認しに行った。絵の裏にはサインと一緒に完成日が書かれていた。その完成日はキリノ大統領が、恩赦令を出した年の7月の日、7月14日。善書はキリノ大統領への手紙に、赦してもらえないままでは絵筆を持ってないと言った。つまり、この絵は善書がキリノ大統領へ手紙を書き始めてから、初めて描かれた特別な絵だということが判明した。七世子さんは紫陽花の絵を美術館に飾らせてもらうことにした。私は、この話を聞く前は、ただ単に迫力のある綺麗な絵だと思っていた。

同じ世界平和への強い意志を、一緒に持つことができていることがうれしかった。私には、この紫陽花の絵には、世界平和への思いが込められていると思ふ。ぜひ美術館に行き、絵を生で見て絵の意味を考えてほしい。善書の世界平和への強い思いを沢山の人が知って沢山の人の世界平和への意識が高まればよいと思う。(花)

(別紙3)

平成30年度 安来市加納美術館 地域ボランティア 応援実績

応援内容	のべ時間	のべ人数
イベント	33	191.5
展示関係	28	162
合計	61	353.5

*講演会、名碗会等

内訳 ●「イベント応援内容」

名碗会手伝い	24	165
講演会など	9	26.5
合計	33	191.5

●「展示関係」詳細

作品借用	6	64
展示作業	22	98
合計	28	162

*市教委 のべ6人

●その他

お抹茶接待菓子皿	1,968	(累計:9,707枚)

別紙(4)

加納佳世子・講演会(館外)

NO	月日	主催者	会場	人数
1	4/21	世界女性会	サンラポーむらくも	50
2	5/23	安来市教育委員会	布部交流センター	40
3	5/30	大塚ふれあいセンター平和と人権講座	大塚ふれあいセンター	40
4	5/31	島根県連合婦人会	ホテル白鳥	60
5	6/21	島根県退職校長会	バルメイト出雲	100
6	6/22	大山町中山人権講座	中山町	80
7	7/23	境港市上道人権研修会	境港上道公民館	50
8	7/25	米子市崎津	米子市崎津公民館	60
9	8/1	江津市人権啓発セミナー	江津市地域産業振興センター	200
10	9/6	玉湯公民館人権研修	布部交流センター	30
11	9/6	さわやかサロン	広瀬社会福祉センター	27
12	9/27	広瀬小学校6年	広瀬小学校体育館	65
13	10/19	松江生活と健康を守る会	布部交流センター	30
14	10/20	県教組研究会	安来中央交流センター	150
15	10/21	江津市高角小学校5年生	江津高角小学校	48
16	11/10	創価学会	創価学会島根文化センター	200
17	11/28	亀嵩高田里つくり協議会	高田公民館	40
18	12/19	ソロプチミスト	ホテル一畑	30
19	12/21	島根県統計大会	アルテピア	200
20	1/17	こども園布部子育て講演会	こども園布部	15
21	2/11	日本キリスト教米子錦町教会	米子錦町教会	70
22	2/16	松江教職員組合	布部交流センター	20
23	2/17	大東町生涯学習	新庄公民館	70
24	2/19	安来ライオンズクラブ	安来市商工会議所	40
25	2/22	赤崎ミニサロン	赤崎公会堂	40
26	2/23	日登交流センター寿学級	日登交流センター	60
				1,815

それぞれの会場で、たくさんの方に聴いていただきました。
美術館内でも、各種団体、個人、たくさんの方に「加納莞菴」「平和」についてお話を聴いていただきました。
ありがとうございました。

神 英雄・講演会(館外)

NO	月日	主催者	会場	人数
1	5/20	安来市商工会	夢ランドしらさぎ	60
2	5/26	龍谷大学同窓会	エクセルイン東急	25
3	5/31	安来市立第一中学校	同左	170
4	6/23	美郷町	潮公民館	70
5	6/24	徳応寺	同左	250
6	7/6	高角小学校	同左	90
7	7/13	浜田市	三隅中央会館	150
8	7/15	江津市光善寺	同左	30
9	7/29	島根民芸協会	神戸コミュニティセンター	30
10	2/1	浜田東中、三隅中	同左	130
11	2/5	中海倫理法人会	ニューアーバンホテル	30
12	2/10	荒島交流センター	同左	80
13	2/17	江津市PTA	地場産センター	120
14	3/2	松江市松尾会館	同左	40
15	3/28	松江倫理法人会	ホテル一畑	30
				1,305

このほか、毎月1回(年間12回)浜田市石正美術館で「加納莞菴の画業」をテーマに講義。各回受講生20～30名。